

平成 27 年度

さいたま市民意識調査

(概要版)

<調査項目>

在住者意識調査		在勤者意識調査
①地域での生活	④市政との関わり	①さいたま市のイメージ
②地域のイメージ	⑤市政	②市内での活動
③さいたま市のイメージ	⑥今の地域を選んだ理由	

<調査のあらまし>

	在住者意識調査	在勤者意識調査
調査地域	さいたま市全域	さいたま市全域の事業所
調査対象	さいたま市在住の満 20 歳以上の男女	さいたま市外からさいたま市内へ通勤する満 20 歳以上の男女
調査対象数	5,000 人	2,000 人
抽出法	住民基本台帳に基づく層化多段無作為抽出	市内の事業所を無作為に抽出し、事業所を通じて個人への調査を依頼
調査方法	郵送配布・郵送回収法	
調査期間	平成 27 年 6 月 2 日～6 月 18 日	
回収結果	有効回収数 2,326	有効回収数 771

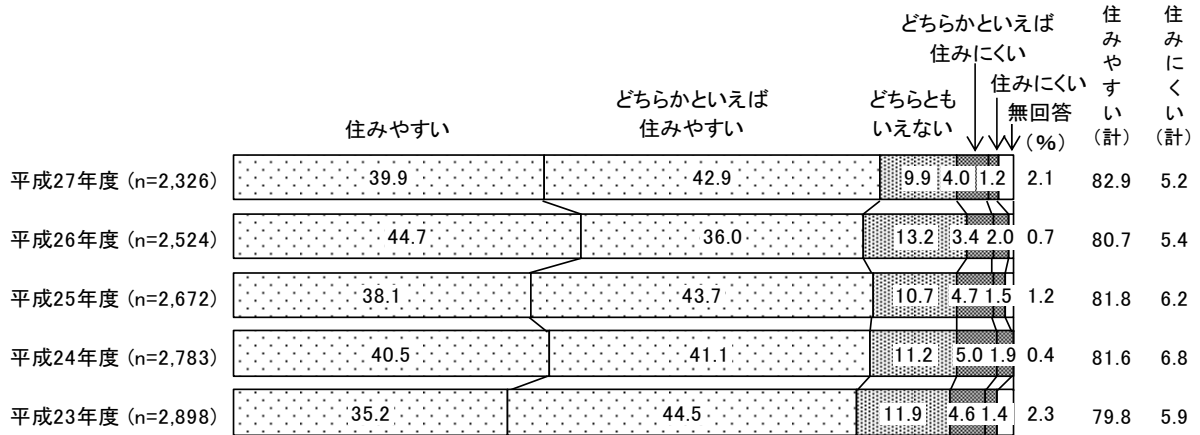
<概要版の見方>

- 図中の「n」は、各設問の回答者数を示します。
- 調査結果の比率は、n を基数として百分率の小数第 2 位を四捨五入して算出しました。このため、すべての比率を合計しても 100.0% にならないことがあります。
- 図中で、在住者、在勤者比較をしている場合は、在住者の順位を基準にしています。
- 図や文章中の選択肢の表記は、場合によっては語句を一部簡略化しています。

★さいたま市は「住みやすいまち」ですか。

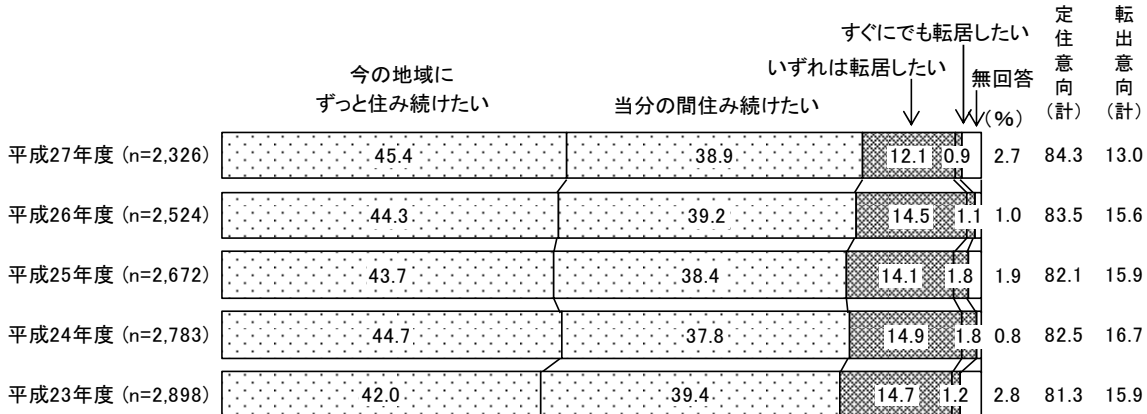
■住みやすい人は 82.9%【在住者調査】

地域の住み心地は、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい(計)』が82.9%と8割を超え、高い水準で推移している。



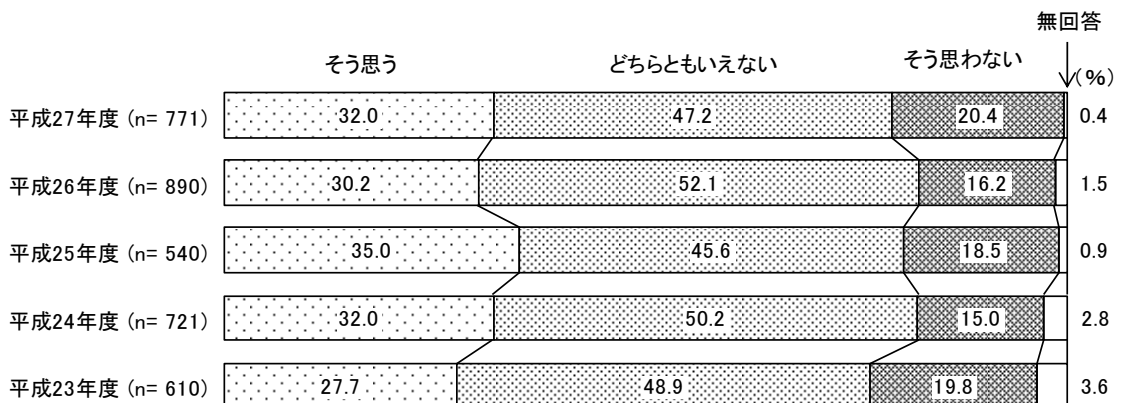
■住み続けたい人は 84.3%【在住者調査】

「今の地域にずっと住み続けたい」「当分の間住み続けたい」を合わせた『定住意向(計)』は84.3%と8割を超え、高い水準で推移している。



■住んでみたい人は 32.0%【在勤者調査】

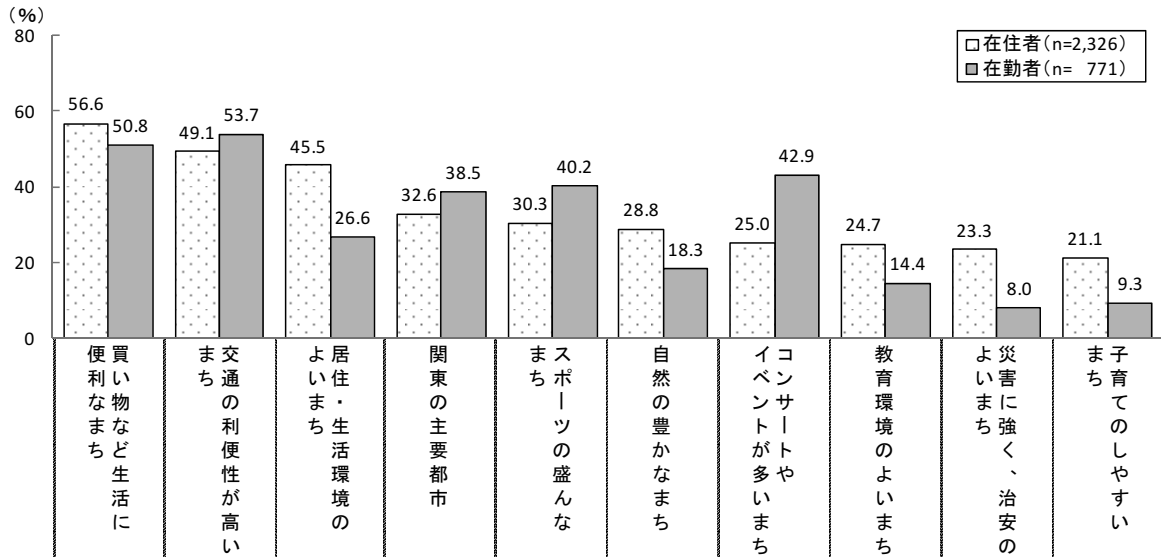
在勤者に、さいたま市は住んでみたくなるような都市だと思うか聞いたところ、「そう思う」は32.0%となっており、約3割で推移している。



★さいたま市にどのようなイメージを持っていますか。

■在住者、在勤者とも、「買い物など生活に便利なまち」「交通の利便性が高いまち」が5割前後

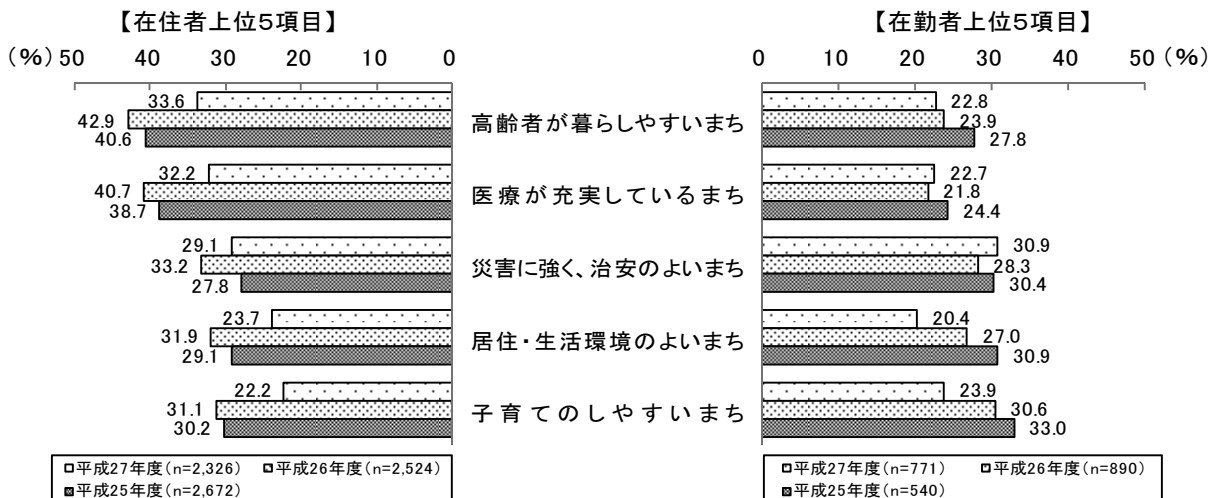
さいたま市のイメージについて聞いたところ、在住者、在勤者とも「買い物など生活に便利なまち」「交通の利便性が高いまち」が約半数を占めている。また、「コンサートやイベントが多いまち」「スポーツの盛んなまち」は、在勤者が在住者を大きく上回っており、「居住・生活環境のよいまち」「災害に強く、治安のよいまち」は、在住者が在勤者を大きく上回っている。



★さいたま市が、今後どうなればよいですか。

■在住者は「高齢者が暮らしやすいまち」、在勤者は「災害に強く、治安のよいまち」が1位

さいたま市の発展の方向性は、順位に差はあるものの、在住者、在勤者とも上位5位には同じ項目が並んでいる。そのうち、在住者では「高齢者が暮らしやすいまち」が、在勤者では「災害に強く、治安のよいまち」が第1位となっている。

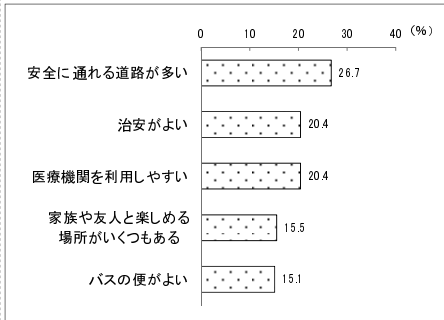


★お住まいの「地域」が、今後どうなればよいですか。

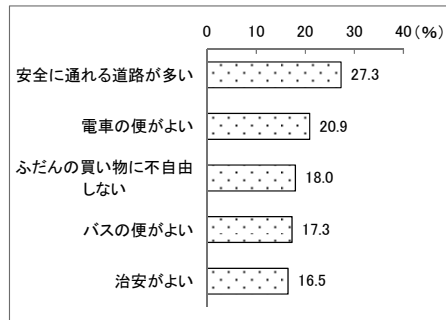
■「安全に通れる道路が多い」が、南区を除くすべての区で第1位

お住まいの「地域」の発展の方向性を3つまで聞いたところ、「安全に通れる道路が多い」が南区を除くすべての区で第1位となっており、南区でも第4位に入っている。また、西・見沼・桜・緑・岩槻区（南北に走るJR線沿線以外の区）では、「電車の便がよい」もTOP5に入っている。

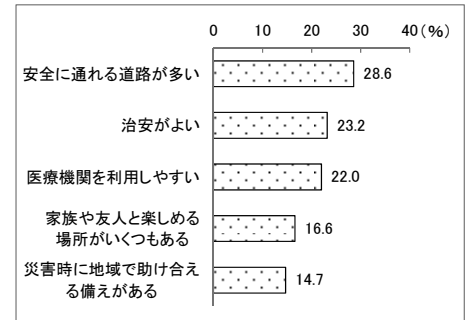
【市全体 TOP 5】(n=2,326)



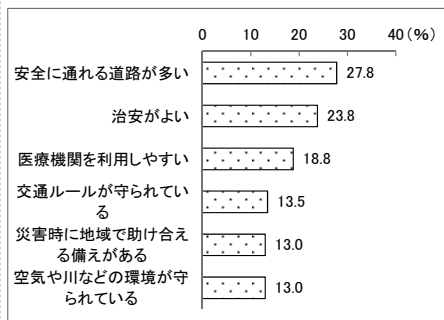
【西区 TOP 5】(n=139)



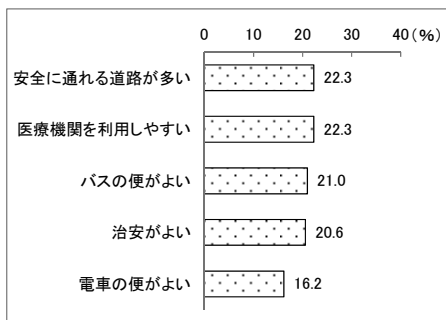
【北区 TOP 5】(n=259)



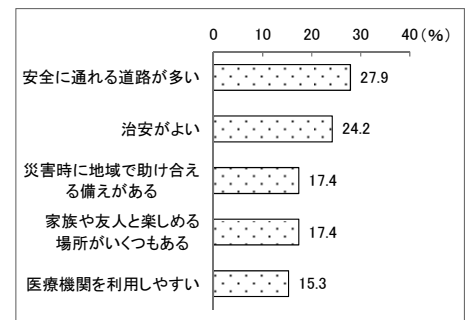
【大宮区 TOP 6】(n=223)



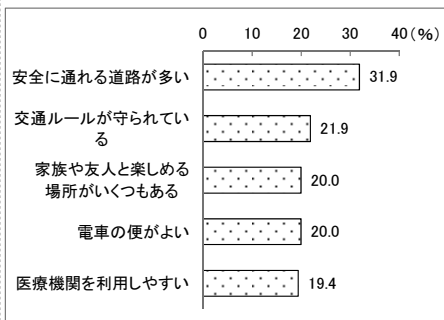
【見沼区 TOP 5】(n=291)



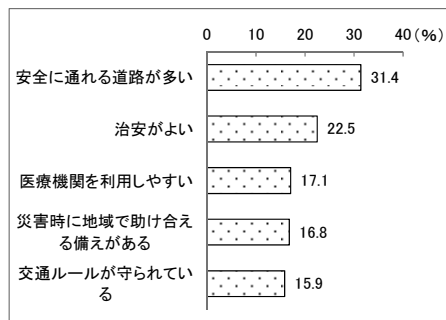
【中央区 TOP 5】(n=190)



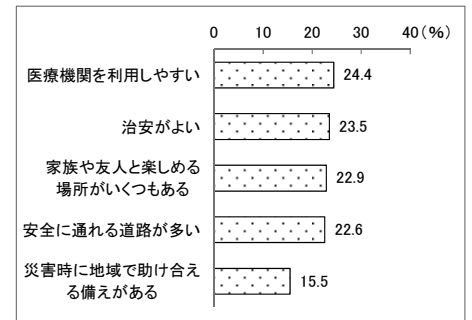
【桜区 TOP 5】(n=160)



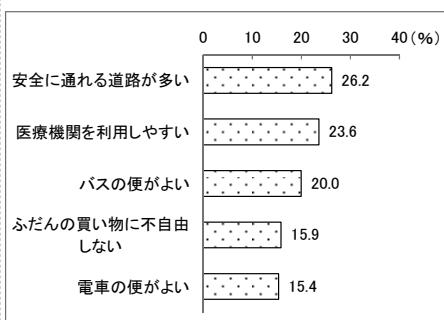
【浦和区 TOP 5】(n=315)



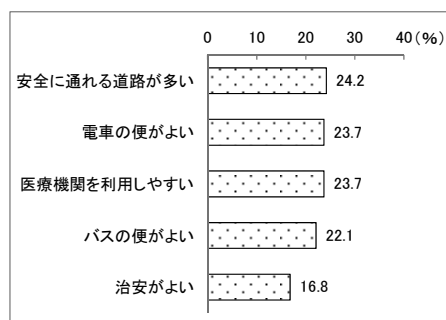
【南区 TOP 5】(n=328)



【緑区 TOP 5】(n=195)



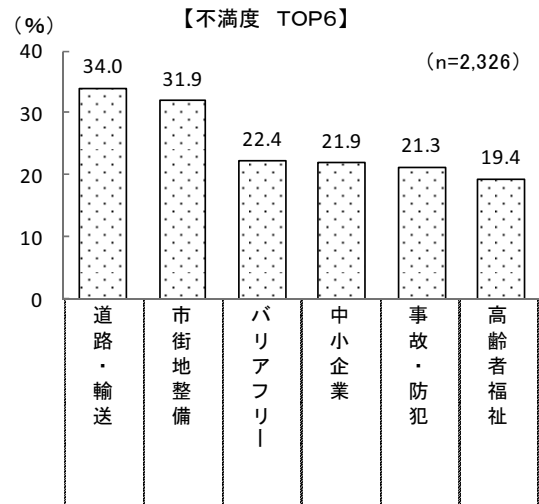
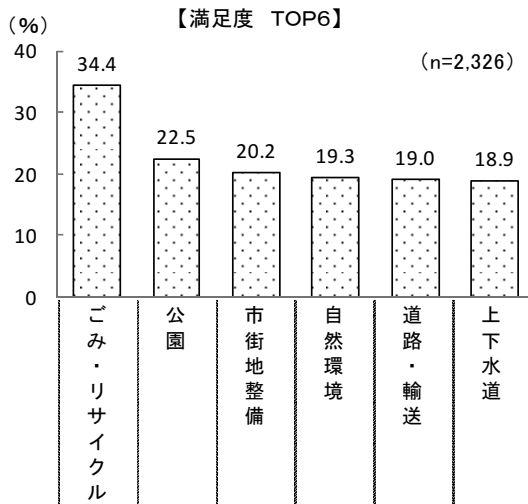
【岩槻区 TOP 5】(n=190)



★「さいたま市」が行っている施策や事業の満足度、不満度TOP6

■満足度1位は「ごみ・リサイクル」、不満度1位は「道路・輸送」

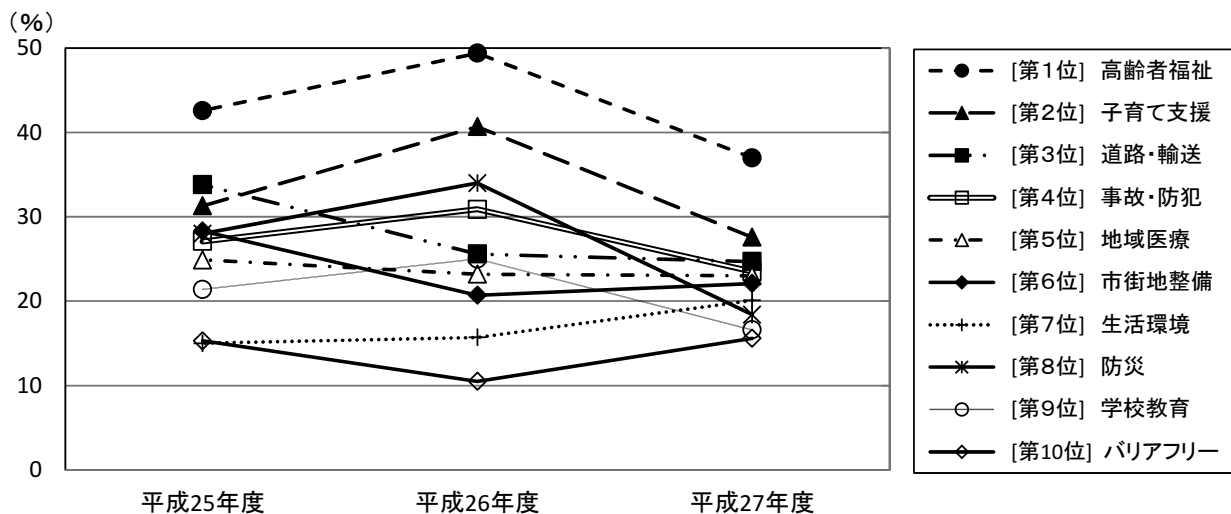
各施策や事業の現状の満足度を聞いたところ、満足度は「ごみ・リサイクル」(34.4%)が最も多く、次いで「公園」(22.5%)となっている。一方、不満度は「道路・輸送」(34.0%)、「市街地整備」(31.9%)の2項目が目立って多く、ともに3割を超えている。



★今後、特に重視する施策や事業TOP10

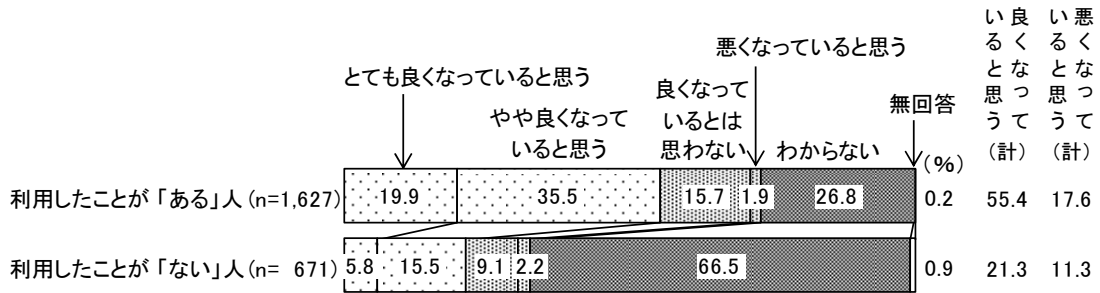
■「高齢者福祉」が例年1位

今後、特に重視する施策や事業を5つまで聞いたところ、「高齢者福祉」(37.0%)、「子育て支援」(27.6%)、「道路・輸送」(24.7%)と続いた。上位2項目と「防災」の重視度は、昨年度より大きく減少している。一方で、「生活環境」「バリアフリー」はやや増加している。

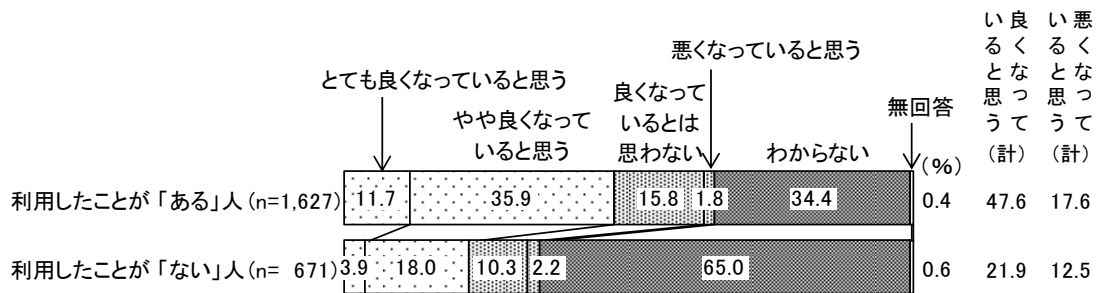


★市役所の利用実態別「市職員のイメージ」及び「市民サービスの評価」

■市職員のイメージ



■市民サービスの評価

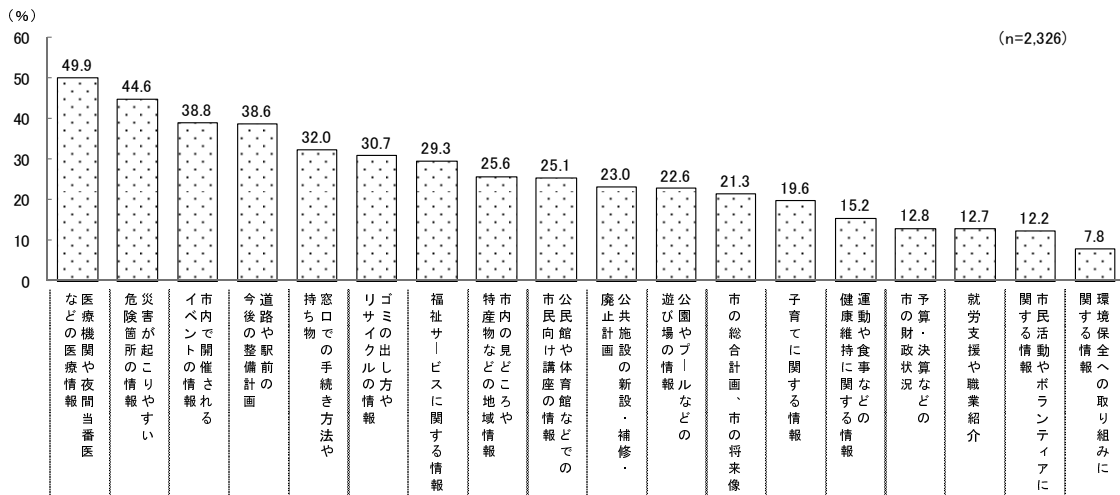


この1年以内で、市・区役所を利用したり、電話問い合わせを利用したりしたことが「ある」人は、市職員のイメージ及び市民サービスとも約半数が『良くなっている（計）』と評価している。一方、利用したことが「ない」人は、両項目とも「わからない」が6割以上を占めている。

★市役所からの情報で、特に知りたいものは何ですか。

■「医療機関や夜間当番などの医療情報」が約5割

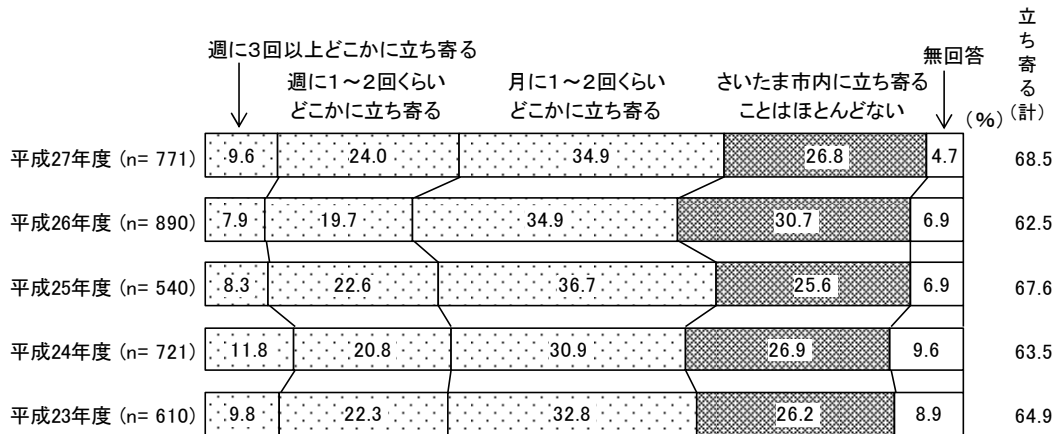
市役所からの情報で特に知りたいものを聞いたところ、「医療機関や夜間当番医などの医療情報」（49.9%）が約5割で最も多く、次いで「災害が起こりやすい危険箇所の情報」（44.6%）、「市内で開催されるイベントの情報」（38.8%）、「道路や駅前の今後の整備計画」（38.6%）と続いた。



★在勤者に、仕事の後、どうしているか聞いてみました。

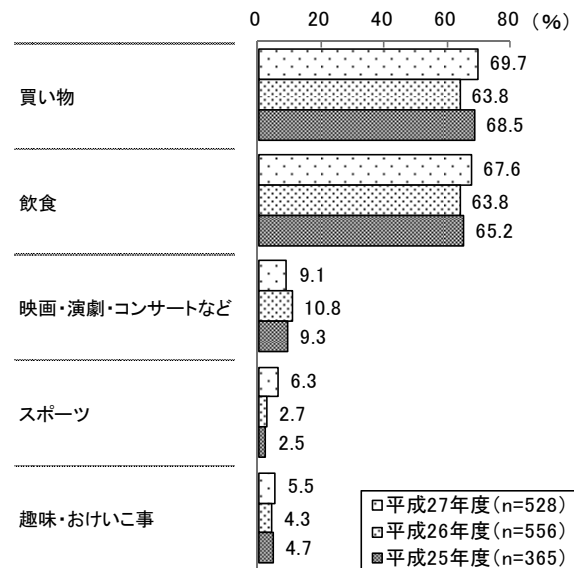
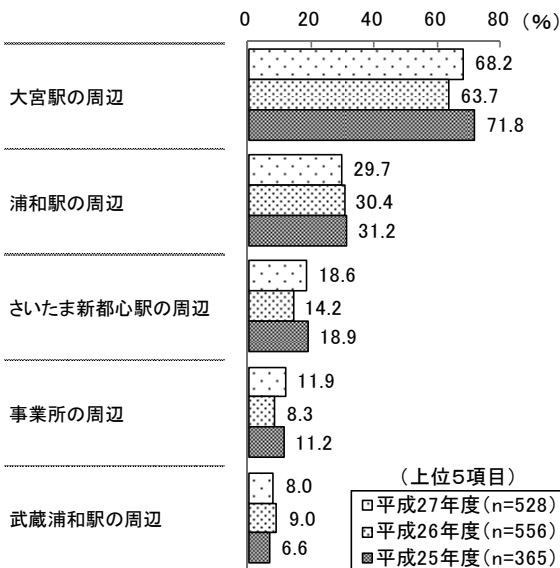
■さいたま市内に立ち寄る（計）は、68.5%

仕事のあと、食事や買い物などでさいたま市内のどこかに立ち寄る頻度は、「週に3回以上どこかに立ち寄る」が9.6%、「週に1～2回くらいどこかに立ち寄る」が24.0%、「月に1～2回くらいどこかに立ち寄る」が34.9%で、この3つを合わせた『立ち寄る（計）』は68.5%に上る。過去の調査と比較すると、さいたま市内に『立ち寄る（計）』は、わずかに増加傾向にある。



■立ち寄る場所は「大宮駅の周辺」

■立ち寄る目的は「買い物」「飲食」



在勤者が仕事のあと立ち寄る場所は「大宮駅の周辺」が突出している。次いで「浦和駅の周辺」、「さいたま新都心駅周辺」と続いている。

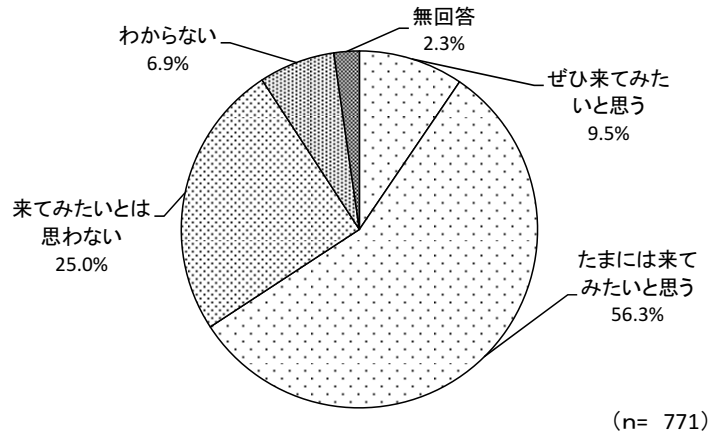
一方、立ち寄る目的については、「買い物」「飲食」の2項目が突出しており、その他は1割未満にとどまっている。

立ち寄る場所と目的は、いずれも昨年度の調査と比較してほぼ同じ傾向となっている。

★在勤者に、仕事が休みの日に、さいたま市に来たいか聞きました。

■さいたま市に来てみたいと思う（計）は、65.8%

仕事が休みの日に、買い物や遊びでさいたま市に「ぜひ来てみたいと思う」（9.5%）、「たまには来てみたいと思う」（56.3%）を合わせた『来てみたいと思う（計）』（65.8%）は、6割超を占めている。



平成27年度 さいたま市民意識調査（概要版）

発行 さいたま市 市長公室 広聴課
〒330-9588
さいたま市浦和区常盤 6-4-4

調査実施 株式会社 アストジェイ
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田 3-30-16
HORIZON.1 ビル

電話 048(829)1931（直通）

電話 03(5155)7381

〔このさいたま市民意識調査業務の委託に要する経費は、1,534 千円です。〕